

〔一般社団法人 東京臨床糖尿病医会 第169回例会〕

■開催日時:2021年2月6日(土)午後3時30分～午後6時50分まで

■開催方法:WEBによる開催(媒体は:マイクロソフト・チームズ)

●テーマ: 糖尿病と心臓・腎臓・肝臓

◆開催あいさつ 理事長(会長):本 田 正 志

(15:30～15:35=5分)

◆司 会:菅野 一男 (かんの内科 院長)

第1演題 『糖尿病治療薬の心血管大規模臨床試験からみた unmet needs』

講師: 小谷 英太郎先生(日本医科大学多摩永山病院 内科・循環器内科 部長)

(15:35～16:25=50分)

要旨

近年発表された大規模臨床試験では、SGLT2阻害薬が予想以上に心・腎イベントを抑制した一方、DPP-4阻害薬では期待された結果が得られていない。見えてきた新たな課題について解説したい。

質疑応答 (16:25～16:35=10分)

第2演題 『重症化した糖尿病腎症の予後改善は可能なのか』

講師:長谷川 亮先生(多摩センタークリニックみらい 腎臓内科)

(16:35～17:25=50分)

要旨

糖尿病透析予防管理料算定開始から7年以上経過したが、その手法について具体的な提言はなく、実施医療機関ごとにその性格を異にしているのが現状である。末期腎不全への悪化を予防しうる、より実効性の高い方法を模索するにあたり、予防外来での継続した療養支援の成果について、自験例などを呈示し考察する。

質疑応答 (17:25～17:35=10分)

----- コーヒータイム (17:35～17:45=10分) -----

第3演題 『糖尿病に合併する NASH や肝臓を見逃さないために』

講師:泉 並木先生(武蔵野赤十字病院 院長)

(17:45～18:35=50分)

要旨

脂肪肝由来の肝臓が増加している。肝臓は糖尿病患者の悪性腫瘍の第一位を占める。単純性脂肪肝と肝線維化を伴う NASH の鑑別が重要であり、高リスク患者における肝臓の早期発見に務める必要がある。

質疑応答 (18:35～18:45=10分)

◆次回例会の案内(170回例会)のお知らせ 染谷 泰寿先生 (染谷クリニック 院長)

(18:45～18:50=5分)

共催:一般社団法人 東京臨床糖尿病医会・ノボ ノルディスク ファーマ(株)
後援:一般社団法人 日本糖尿病学会関東甲信越支部